

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例904

発生場所

階段

精神・意識障害の有無

リスク

発生場所（その他）

無

A. 患者による使い方・置き方のリスク

関連したもの

ドア

発生内容の分類

閉じ込め

発生内容

階段エリア内に患者が閉じこめられた

概要

2月より防犯上の理由により階段スペースに入るドアに電子ロックが設置されたが、4月の日曜午前、7階整形外科病棟の患者（56歳）が、退院前の筋力UPのため階段昇降運動を自主リハビリとして行おうと階段スペースに入り、15分程度運動した後、7階フロアに戻ろうとしたが、ロックがかかっており戻れなくなってしまった（階段スペースに入ることはできるが、階段スペースからフロアに入ることができない状態）。その後約30分経ったところで、8階から降りてきた理学療法士にドアを開けてもらい無事に7階フロアに戻ることができた。患者はドアに貼られていた注意書きを見ていなかった。

要因

【注意説明の張り紙の問題】

- ①一部が破れるなど目に留まるものではなかった
- ②文字しかなく文字が小さく文字数も多い

【張り紙以外の問題】

- ①入院時にオリエンテーションがなかった
- ②階段のドアの張り紙以外の注意喚起アナウンスがなかった

対策

- ①張り紙の表記を変更し、短文でわかりやすくし、ラミネートして貼付しなおしてもらった（総務課）
- ②入院時のオリエンテーションに追加した

参照



実際の7階フロアの中央階段に貼られていた張り紙。
事象発生の翌日に撮影。